

	チェック項目	はい	いいえ	無記入	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	0	0	・設定活動や自由遊びなど、利用者の人数や職員に人数を適切な人数で行うため、各クラスと協力しながら調整している。	・左記の工夫を重ねながら、子どもたちに必要なスペースを確保し、安全な通園を保障する。また、集中しやすい環境設定を行う。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	4	0	・配置数としては適切であったが、より良い支援をしていくためにはサポートしていただける臨職が必要。	・子どもとゆとりをもって接することができるような人員配置を行い、より良い支援に努める。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	0	0	・何をどこで、いつするか等、子どもたちが自分で理解して行動できるような環境設定に心がけている。	・個々に合わせた環境設定を引き続き行っていく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	6	0	・子ども達が活動しやすいよう構造化し療育後は消毒などを行い清掃している。 ・掃除の時間だけでなく、給食後などは気づいたらすぐに拭取るよう意識すべきと感じた。	・業者によるワックス清掃を年2回行う。 ・掃除が行き届いていない箇所があるため、場所と担当を決め、終わったらチェックする。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	2	0	・園長や児発管も同席した会議を開き、目標設定や振り返りを行った。 ・クラスでの話し合いや職員間での情報共有も密に行っている。	・今後も継続したい。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	1	・今年度もより丁寧に保護者の意向を確認した。	・保護者アンケートの集計結果等を公表するとともに、改善点等についても周知を行った。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	0	・ガイドラインの自己評価表をもとに、全職員で評価を行い、改善点などを確認検討している	・法人のホームページをリニューアルし、評価表がすぐわかるように工夫する。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	3	・今年度は第三者委員による評価を受けていない。	・第三者委員からの評価を受け、業務改善につなげていく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	2	0	・コロナ禍でリモートによる研修を行った。	・現在の職員に必要な知識、技術に関する学びを最優先に研修計画をたて、実施に努める。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	2	0	・保護者のニーズ聞き取り面談を行い、フォーマル、インフォーマルアセスメントをもとに子どもの状況に合った目標設定で児童発達支援計画の作成に努めている。	・アセスメントを行うための職員のスキルアップを図る必要がある。 ・新入園児は特に丁寧なアセスメントを行う必要がある。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	0	・インフォーマルなアセスメントを使用している。	・アセスメントツールを使用して、それぞれの力を知り、適応行動の状況を図る必要がある。 ・保護者のニーズを聞き取り、子どもの現状を知るためには、アセスメントにはもっと力を入れていく必要がある。 ・PEP-Rを実施する。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援 ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	1	・内容もガイドラインに沿った項目を選定し、個別支援計画を作成している。 ・支援の必要な家庭への介入を写真や動画を通してアドバイスを行っている。	・家族支援や地域支援を行うための人身を配置していく。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	・児発管とクラス担任が話し合い、目標に沿った支援を行っているか確認している。	・スモールステップで目標を作成し、個別療育の機会を設け、より個別化した支援を行う。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	・クラスリーダーを中心に、クラス間で情報共有しながらプログラムを考えている。	・会議や打ち合わせの効率化を図りながら、チームワークを引き続き維持する。 ・チームでの立案が困難なクラスには、児発管が介入し一緒に考える体制を整える。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0	・活動内容を考えるリーダーを交代で回すことにより、様々な取り組みを行うことができた。 ・様々な経験が積み重ねられるように工夫している。	・月間カリキュラム内容を決める際には、そのねらいを明記した予定表を作成する。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0	・アセスメントに基づき、活動の内容によって個別・小集団・より大きな集団と場面設定を工夫している。	・今後も継続していき、別途個別療育の機会を設け、より丁寧な療育を行う。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	0	・一日の子どもの動きとともに、職員の動きも記載し、確認を行っている。	・今後も継続したい。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	0	・クラス間での話し合いや終礼での職員間での情報共有を行っている。	・今後も継続したい。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	3	0	・支援計画を基に日々の記録を作成している。	・支援内容のスキルアップに繋げていくためにも、記録を基にした検証を習慣化したい。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	1	・前期・後期で支援目標を設定し、3か月ごとの中間面談でモニタリングを実施している。	・回数については、現在年3回だが、必要に応じて中間期にもモニタリングを行っている。(中間面談)
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	1	・どのケースも管理者で相談支援専門員の園長が参画している。必要に応じて担任も参加。	・今後も継続する
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	2	・必要により、随時連携を行っている。	・今後も必要なケースを早期に見極め、関係機関との連携や支援を行う
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	0	9	なし	なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	9	なし	なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0		・引き継ぎ書を作成し、スムーズに移行できるよう支援内容等の情報を共有している。	・現状を継続したい。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	0		・保育所等訪問支援を希望されるご家庭には、担当者が学校に訪問し助言を行った。 ・就学に際しては、全員にひきつぎシートを作成し、内容についても保護者の了解を得て学校へお渡ししている。	・現状を継続するとともに、継続した支援が行いやすいよう、伝え方などをさらに工夫したい。

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2	0	・えがお連絡会や単独研修会に参加し、意見交換等を行った。	・コロナの状況をみながら、職員全員で学びを深めるためにも、今後も連携していきたい。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	9	0	・コロナ感染症の影響で、実施できずに残念だった。	・子どもの育ちに貴重な時間のため、コロナの状況を見ながら実施する方向で計画し、お互いの児童の成長を高め合う機会にしていきたい。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	6	1	・コロナ感染症の影響で、実施できずに残念だった。	・コロナの感染状況を見ながら、地域の公民館との交流を深めていく。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	・日頃より、面談、家庭訪問、おたよりノートなどで、児の発達状況等を伝え、保護者と子どもの状況や発達を共有している。	・保護者からのニーズにも応じることはもちろんのこと、自分から申し出のない保護者や配慮の必要な保護者への対応にも気を配っていきたい。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	0	1	・幼児期のご家族に合わせたプログラムでペアレントトレーニングを行っている。	・ペアトレの受講が難しい保護者への支援、情報提供を模索していく。
	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	2	・契約時の重要事項説明書で説明をしたうえ、さらに口頭でも負担等についても具体的に説明している。	・今後も継続したい。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	0	0	・支援計画作成後、保護者との面談を行い、同意を得た上で支援を行っている。	・家庭での支援に活かすため、保護者に支援内容や目標等をわかりやすく伝え、相互理解を深める。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	・保護者から相談があった際には、園長および児発管とも共有しながら、担任が助言や支援を行っている。	・子育ての悩みを抱え込まず、相談しやすいように、保護者や児の様子に気を配り早期に気付くように心がける。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	0	0	・月に1回保護者会を開催している。 ・保護者会が中心となり、OG会や交流会を行っている。 ・保護者ボランティア活動を行っている。	・今後も保護者会との連携を継続したい。
保護者への説明責任等	㉙	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	1	・子どもや保護者からの相談や申し入れ等には迅速に応えるように努めている。	・今後も継続したい。
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	0	・園だより、クラスだよりを中心に、年間行事予定表や連絡網、感染症情報等を作成配布している。	・必要に応じて様々な情報を発信していく。
	㉛	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0	0	・個人情報の持ち出しや漏洩がないようしている。	・今後も継続したい。
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	・子どもや保護者との意思疎通には、言語でのアプローチの他に視覚手がかり(絵や写真、文字等)も有効活用し、相互理解できるよう工夫している。	・今後も継続を行う。
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	6	0	・コロナのため実施できず。	・今後検討していく。
	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	1	0	・各種マニュアルを作成するとともに保護者に周知するため、いつでも閲覧できるよう、玄関ホールに掲示している。	・マニュアルの再確認と、実際に想定した訓練を引き続き行い、非常災害時における迅速な対応がとれるようにする。

④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	9	0	0	・月1回の定期避難訓練(火災訓練 または地震訓練)、年2回の総合避 難訓練(消防署への通報を含む)を 行っている。	・今後も継続する。
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認しているか	8	1	0	・入園時に、児の状況、予防接種ア ンケートを保護者に記入してもらい 把握。さらに必要であれば、発作時 の対応マニュアルを作成したり、医 師による服薬指示書の提出を依頼し ている。情報は全職員で共有してい る。	・緊急時にすぐに判断や対応できるよ う、日頃より児の健康状態の把握を行うこと が必要である。 ・発作が起こった児に対しての基本的な 対応は、全職員で共有するように報告等 を行ったが、実際に適切な対応を全員が できるわけではないので、対応の仕方等 を学びあうことが大切と考える。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされているか	8	0	1	・食物アレルギーがある場合、医師 の指示書をもとにアレルギー除去食 を提供している。また、配膳の間違 いや同室内で他児の食事が混入が ないよう細心の注意を払っている。	・今後も継続。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有 しているか	7	2	0	・ヒヤリハットがあった場合は、報告 書を作成し供覧するとともに会議等 で共有し再発防止に心がけている。	・ヒヤリハットの傾向を分析し、事故防止 に努める。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしているか	9	0	0	・虐待防止研修を行い、職員の意識 向上を図った。 ・児への対応等で不適切と思われる 場面があればお互いに声をかけあ える職場作りに努めた。	・今後も継続する。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う かについて、組織的に決定し、子どもや保護 者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児 童発達支援計画に記載しているか	7	0	2	・契約書には明記して入園時に保護 者に説明を行っている。現在のとこ ろ適用事例はない。	・引き続き、組織的な決定や保護者への 伝え方などをマニュアル化することが必 要と考える。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センターまたは児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」「課題や改善すべき点」等について記入してください。